

②③松本市^{しらほね}白骨温泉^{ついと}隧通し斜面对策工

受賞機関 国土交通省 北陸地方整備局
松本砂防事務所

キーワード 周辺景観との調和、脆弱な斜面、施工の工夫

全建賞審査委員会の評価ポイント

白骨温泉「隧通し」を含む脆弱な周辺斜面において斜面崩壊防止工事を行った事業。中部山岳国立公園内において特別天然記念物に指定されていることから、所定の協議に加え景観対策のための懇談会等の助言を得て進めた点や、擁壁工とタイロッド工を組み合わせた対策上の工夫、現地景観と一体性を高めた手作業による造形加工、高さ35mの脆弱な直立斜面への安全対策などを採用した点が評価された。

1. はじめに

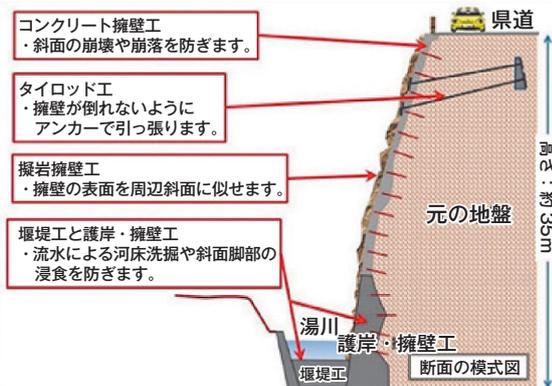
松本市白骨温泉「隧通し」周辺は中部山岳国立公園に指定されているほか、「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」は国の特別天然記念物に指定されている風光明媚な景勝地である。一方で「隧通し」周辺は、脆弱な地質で凍結融解による風化、流水や雨水による浸食や崩落が進んでおり、大規模崩壊等に伴う下流域の氾濫が懸念されていた。そのため対策工に着手し、地域の安全を確保するとともに、周辺との調和をはかるため景観に配慮した施工を行った。

2. 事業の概要

対策工として主に河道洗掘防止のための堰堤工、および斜面对策工を実施した。

斜面对策工はコンクリート擁壁工とタイロッド工を施工した。コンクリート擁壁工は河川の流れによる斜面脚部の浸食防止を目的とした護岸工の役割と、雨水の浸食防止及びオーバーハングの解消、表面剥離の防止を目的とした法面工の役割をもたせた。

対策工法の検討にあたっては国立公園内や特別天然記念物といった環境・景観面を考慮し、極力地形改変を少



対策工の概要

なくするとともに、擬岩を使用し周辺の景観と一体化させるなどの工夫を取り入れた。

3. 事業の成果

工事は山間部の狭隘な場所において通年施工で実施した。施工箇所が脆弱な斜面であったが、落石対策をはじめとした安全対策を講じ、2年10ヶ月におよぶ施工期間を通じて無事故で完成することが出来た。

景観対策に関しては「白骨温泉隧通し懇談会」にて検討を進め、擁壁部分についてはコンクリートの施工前面に岩肌を造形・着色する擬岩工を施すこととした。施工にあたっては、地元関係機関や有識者より助言・確認を頂きながら慎重に進めた。

これらの取り組みにより周囲の景観を損なわず、一体化した構造物として施工することが可能となった。工事完成後は施工前の「隧通し」の景観と遜色無く、地域の安全向上が図られたとともに、白骨温泉の風趣が守られたことから、地元関係者からも感謝の意をいただいている。



工事完成後の「隧通し」(右岸側が斜面对策工施工箇所)

4. おわりに

松本砂防事務所はこの白骨温泉隧通し斜面对策工の完成が、地域及びこの地を訪れる観光客の安全・安心の向上に効果を発揮し、「隧通し」という観光資源の保全が白骨温泉地域一帯の発展に大きく貢献することを願っている。

また、今後とも災害に強い強靱な国土づくりを推進し、良好な環境の創出を含めた土砂災害防止対策に取り組んでいきたい。